

1. 単語をつなぐ <ニパータを使って①>

単語をつなぐと文になります。日本語では、助詞が名詞・動詞などの単語をつなぐ役目を果たして文をつくりませんが、シンハラ語にも日本語の助詞と同じような働きをする品詞があります。それはニパータ・パダと呼ばれるものです。

ニパータには日本語の助詞とよく似ているものやほとんど一致するものがあり、そして日本語とシンハラ語は文の語順が完全に一致するものですから、ニパータはまるで日本語の助詞であるかのようにシンハラ文に現れます。これまでの日本語で書かれたシンハラ語教科書にはニパータの働きにふれたものがなかったのですが、本書では、このニパータとくに注目してシンハラ文法をとらえていきたいと考えています。

ここでは日本語の助詞にそって、ニパータのいくつかを紹介していきます。

「は・が・を」の助詞はない

シンハラ語には「は・が・を」にあたるニパータはありません。日本語でも主語・目的語に用いられるこれらの助詞は省いても意味は変わりません。実際、会話では省略されることも多いものです。

ඔබ	ඔබ	කියවනවා
oba	poṭa	kijāvanava:
オバ	ポタ	キヤワナワ
あなた(は) 木(を)		読む

※一般に口語では「は」「を」に対応するニパータはないが、一人称対格の「私を」の場合、接尾辞 ① が用いられる。

「に・へ・によって」はタロ

【方向・対象】

මම	කෝච්චියට	තැරුවා
mama	kottijyata	naegga:
ママ	コーチヤタ	ナエッガー
私	汽車に	乗った

මම	නුවරට	යනවා	
mama	nuvarata	janava:	
ママ	ヌワラタ	ヤナワ	
私	街へ	行く	※ヌワラはカンディーを指す場合が多い。

මම	එකට	කැමැති ද?	
obo	ekata	kamaθi	ða
オバ	エーカタ	カエマティ	ダ
あなた	それと (対して)	好き	か? →あなた、それ、好き?

මම	බාදාගිනි	
mata	baðagini	
マタ	バダギニ	
私に (とっては)	空腹だ	→私は空腹だ

【原因】

මේ	දොර	ඉළඟට	ඇරෙනවා
me:	ðora	hurangata	arenava:
メー	ドラ	フランガタ	アレナワ
この	ドア	風に (よって)	開く

「の」はゲー・ウ・イエー・ウ

例えば日本語で「私の国」は「我が国」というように、所有・所属を意味する「の」は「が」を用いることがあります。この「が」にゲー・ウが対応します。ga と ge ですから覚えやすい。